

不登校の子どもを支援する

わくわくのご案内



不登校になると…

子どもも保護者も

不安や不安からくるあせりやいら立ち、

学校に行けないつらい気持ちや寂しさなどに

悩まされることがあります。

【ホームページ】

四日市市登校サポートセンター

わくわくでは、

小グループの中で、子どもたちが、友だちと関わりながら様々な経験を重ね、少しずつ

自信をつけていくことを目指しています。

また、保護者の気持ちが少しでも楽になるように、教育相談も行っています。

わくわくでは、不登校の小学生の子どもを対象に、ソーシャルスキルトレーニング(SST)を行い、子どもたちの学校復帰や社会的自立を促す支援をしています。

☆☆ どんなところですか？

学校に行かなければと思いつつも、登校できないでいる小学生の子どもたちや、その保護者のために、支援をするところです。

☆☆ どんなことをしているのですか？

集団遊びを通して、友だちとのかかわり方や気持ちの切りかえ方、ルールの守り方などを身につけていきます。

☆☆ 教科学習はしますか？

子どもの状態に応じて、必要な場合は教科学習を行うこともあります。

☆☆ 誰とするのですか？

主に、教育支援課のスタッフです。

☆☆ 教育相談・カウンセリングって？

「なんとなく学校に行きにくい」「友だちや学校のことを考えるとお腹がいたくなる」「イライラする」「クラスにとけこめない気がする」など、様々な悩みや不安についての解決方法をセラピストやスタッフといっしょに考えます。

対象になるのは、子ども、保護者、教師です。

セラピストは、臨床心理士の資格を持った心の専門家です。



☆☆ 通級できる日時はいつですか？

- ・ 開級日……毎週水曜日（祝日、年末年始の休日、及び学校の長期休業中を除く）
- ・ 活動時間……9:00～10:30

☆☆ 入級したい場合は、どうすればいいのですか？

- (1) 入級を希望される場合は、まず、保護者と子どもが教育支援課の教育相談を受けていただきます。電話で教育相談の予約をしてください。
教育支援課 TEL 354-8285
- (2) その後、保護者はスタッフによる教育相談を、子どもはセラピストによるプレイセラピーを続けます。
*遊戯療法(プレイセラピー)は、自分の考えや感情を言葉で表現することが困難な子どもに、遊びをコミュニケーションの手段として用いる治療法です。
- (3) 子どもの心のエネルギーが回復し、グループ活動のプログラムが適切な段階になったら、わくわくへ体験的に参加します。
- (4) 子ども・保護者がわくわくへの入級を希望し、かつ継続通級が可能で、支援方法についての同意が得られた場合、入級を決定します。

☆☆ 学校や家庭との連携は？

- ・ スタッフが学校を訪問したり、先生方がわくわくを訪問したりすることもあります。
- ・ わくわくへの通級は、指導要録上の出席扱いとなります。
- ・ 保護者とは、随時、面接相談や電話相談を行います。





わくわく(四日市市教育委員会教育支援課)

〒510-0085

四日市市諏訪町2番2号

TEL 059-354-8285



★ 総合会館6階 フロア図 ★

わくわくは
集団学習室1・2で行います

